

筑紫よかまち協議会『設立趣意書』

私たちが住む筑紫地域は、「古い歴史にうたわれた、くには筑紫^{つくし}の、名も高し」と小学校の校歌にも歌われる、由緒あるところです。

筑紫地域を見渡せば、のどかな田園風景が広がり、その中を宝満川がゆったりと流れるなど、多くの自然に恵まれています。一方で、西鉄大牟田線、国道3号が縦断するなど交通の便も良く、筑紫駅前の区画整理により若い人たちの姿も増え、先人たちの努力により、たいへん住み良いまちとなっています。

しかし、我が国全体を見回せば、少子高齢化・人口減少社会を迎え、社会の構造は大きく変化し、価値観の多様化により地域の絆が薄れるなど、数多くの問題が存在しています。

私たちが住む地域がこれからも「よかまち」であり続けるためには、私たち自らによる不断の努力が求められています。

また、この地域に暮らす城山、筑紫、若江、下見一、美咲、岡田、筑紫駅前通、諸田、常松、永岡、桜台の11の区や自治会が、それぞれ独自の取り組みを行うだけでなく、お互いに助け合い、支えあう仕組みをつくることも必要です。

そこで、筑紫地域では、区長会をはじめ地域で活動するあらゆる団体と地域の住民とで、協働によるまちづくりを目指し、学習会を重ね、組織づくりのための準備会を設置するなど、これからの地域の在り方について検討を重ねてきました。

そして、私たち筑紫地域の住民は一丸となり、自らの手によって「よかまち」を守り、次世代を担う子どもたちに引き継ぐため、ここに「筑紫よかまち協議会」を設立するものです。

平成26年12月21日

筑紫よかまち協議会設立準備会

((仮称) 筑紫コミュニティ運営協議会設立準備会)